

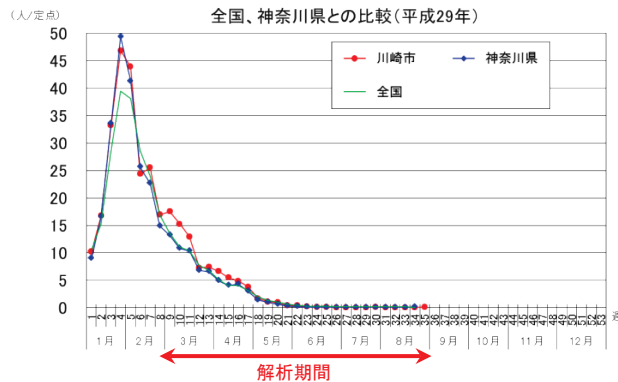
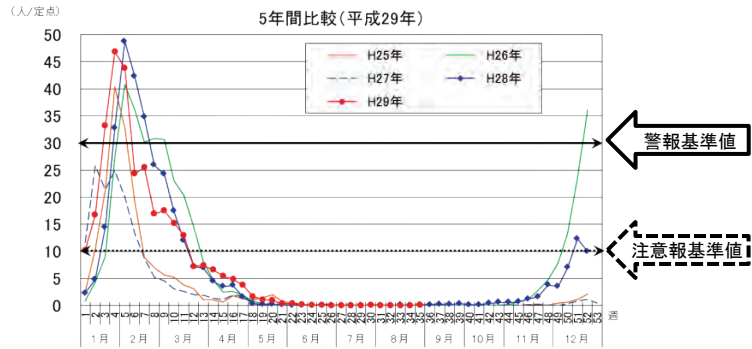
定点把握疾患の届出状況(平成 29 年 3 月～8 月)

<インフルエンザ定点対象疾患>

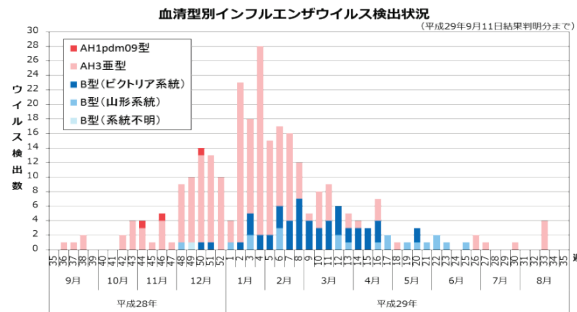
インフルエンザ(警報基準値:定点当たり 30 人、注意報基準値:定点当たり 10 人)

【川崎市】

今期(平成 29 年 3 月～8 月)は定点当たり 3.24 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.23 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。2016/2017 シーズンは、第 46 週に流行開始の目安である定点当たり 1.00 人を超え、例年に比べて 2 週間程度早く流行が始まり、第 51 週に流行発生注意報基準値(定点当たり 10.00 人)、第 3 週に流行発生警報基準値(定点当たり 30.00 人)を超え、第 4 週に流行のピークとなりました。例年 7 月～8 月は報告のない週が多くみられますが、今年は第 33 週を除く全ての週で報告がありました。



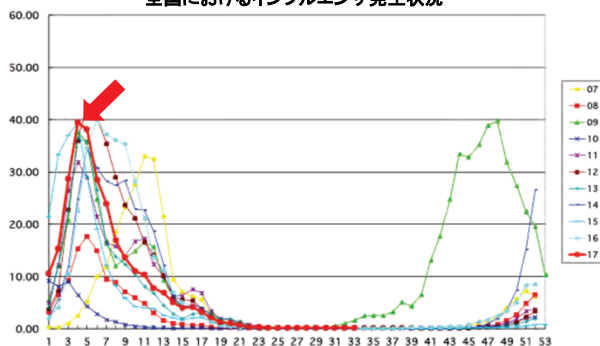
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。2016/2017 シーズンは、AH3 亜型が 201 件、B 型(ビクトリア系統)が 52 件、B 型(山形系統)が 20 件、AH1pdm09 型が 3 件、B 型(系統不明)が 1 件検出されました。



【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

全国におけるインフルエンザ発生状況

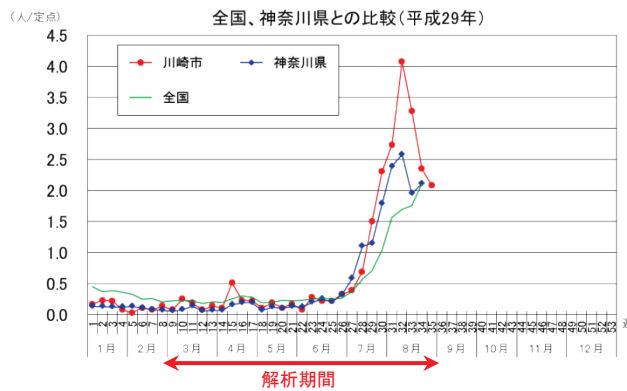
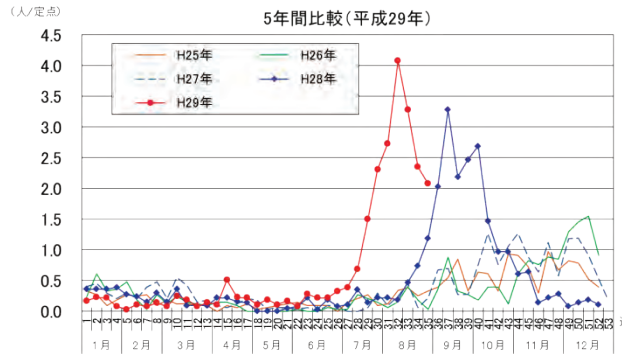


<小児科定点対象疾患>

RSウイルス感染症

【川崎市】

今期は定点当たり 0.84 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 5.83 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。7 月上旬以降患者報告数が急増し、第 32 週には定点当たり 4.08 人となり、過去 10 年間で比較して最大の報告数となりました。

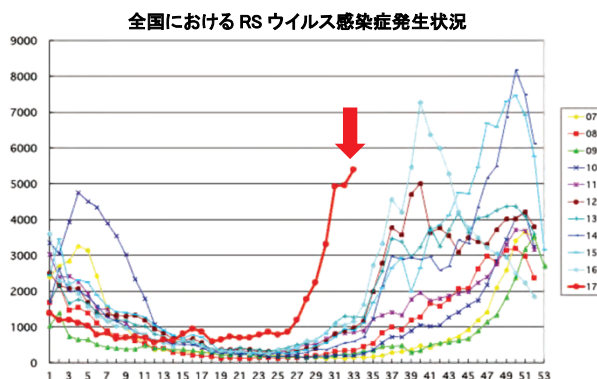


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	女	9 か月	H29.5.1	RS ウイルス	B 型
多摩区	女	11 か月	H29.6.7	RS ウイルス	A 型、B 型
多摩区	男	2	H29.7.27	RS ウイルス	A 型
中原区	女	1	H29.8.7	RS ウイルス	A 型、B 型
麻生区	男	2	H29.8.26	RS ウイルス	A 型
幸区	女	1	H29.8.29	RS ウイルス	A 型

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり高いレベルで推移しました。

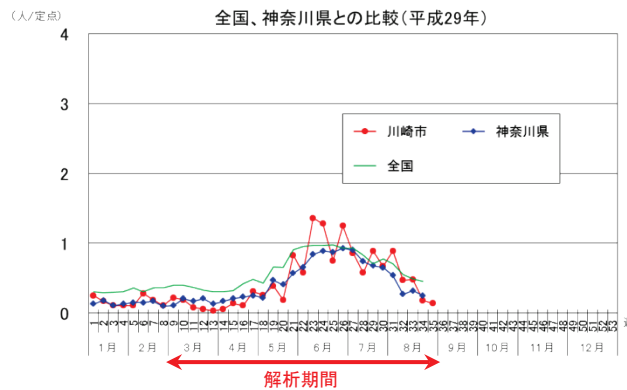
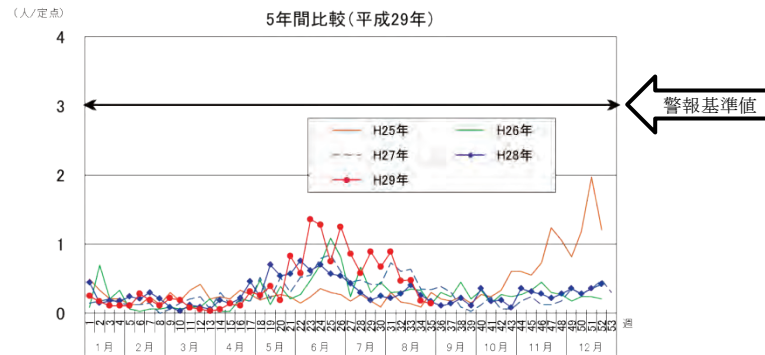


咽頭結膜熱(警報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.49 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.53 倍で、例年より高いレベルで推移しました。5 月中旬以降患者報告数が増加し、特に 6 月～7 月は例年よりかなり高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (3) を超えた週は、宮前区で第 21 週 (3.17 人)、麻生区で第 23 週 (4.80 人)、第 24 週 (5.40 人)、第 26 週 (3.20 人) でした。

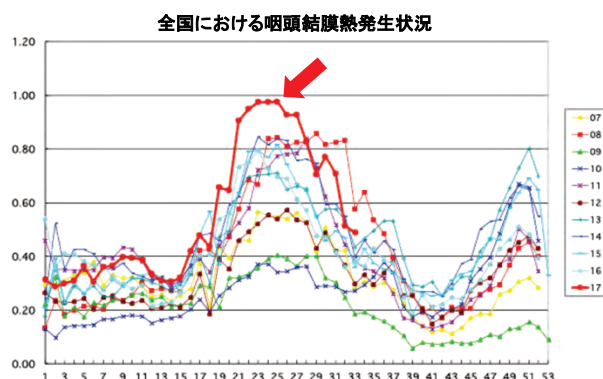


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果
中原区	男	10 か月	H29.5.13	アデノウイルス 2 型
川崎区	男	7	H29.5.16	アデノウイルス 64 型
幸区	女	1	H29.5.22	アデノウイルス 4 型
幸区	女	1	H29.6.5	陰性
幸区	男	10	H29.6.5	アデノウイルス 4 型
中原区	女	8	H29.6.6	アデノウイルス 3 型

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり高いレベルで推移しました。

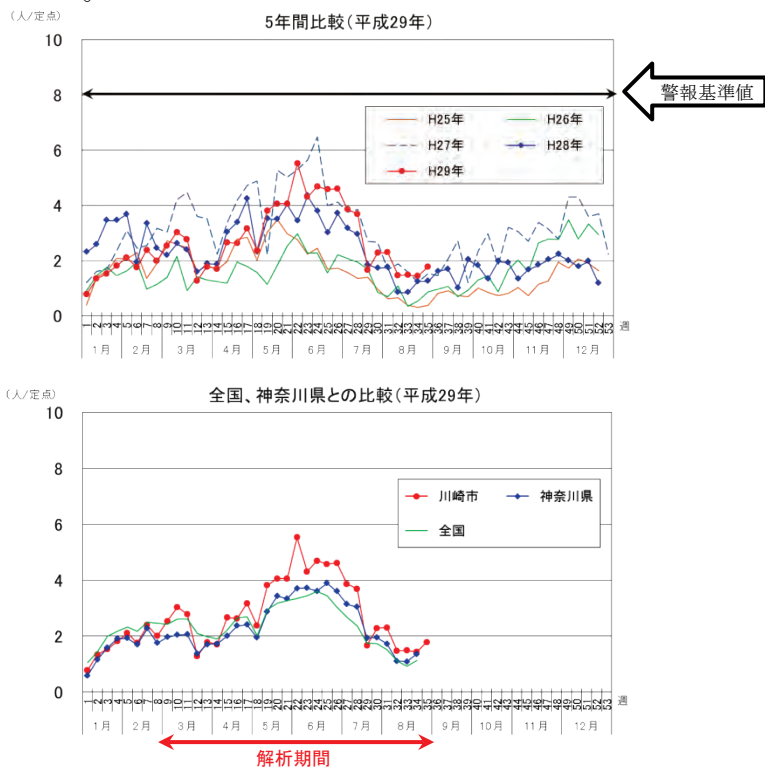


A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は定点当たり 2.96 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.29 倍で、例年より高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (8) を超えた週は、川崎区で第 21 週 (9.20 人)、第 22 週 (11.20 人)、第 23 週 (9.40 人)、第 24 週 (9.80 人)、第 33 週 (8.50 人)、宮前区で第 17 週 (8.33 人)、多摩区で第 22 週 (8.60 人)、第 25 週 (8.40 人) でした。



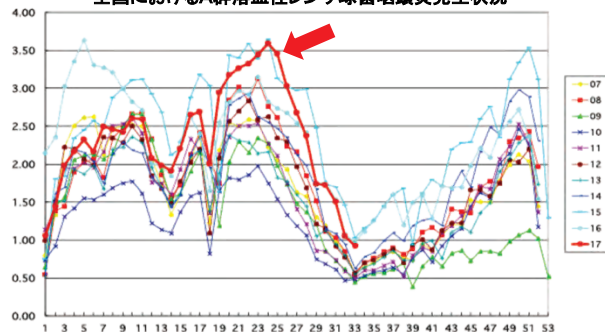
なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	T型別
多摩区	女	5	H29.4.17	A 群溶血性レンサ球菌	T25
多摩区	男	10	H29.4.20	A 群溶血性レンサ球菌	T4
中原区	男	1	H29.4.24	A 群溶血性レンサ球菌	T1
中原区	女	7	H29.5.8	不検出	—
幸区	男	11	H29.5.9	不検出	—
高津区	男	3	H29.5.15	A 群溶血性レンサ球菌	T1
中原区	女	1	H29.5.22	A 群溶血性レンサ球菌	T3
多摩区	男	2	H29.5.29	A 群溶血性レンサ球菌	T2
幸区	女	11	H29.5.29	A 群溶血性レンサ球菌	T1
幸区	男	10	H29.6.5	不検出	—
川崎区	男	7	H29.6.30	A 群溶血性レンサ球菌	T25
多摩区	男	9	H29.7.25	A 群溶血性レンサ球菌	T2
多摩区	男	9	H29.8.3	A 群溶血性レンサ球菌	T2

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり高いレベルで推移しました。

全国におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況

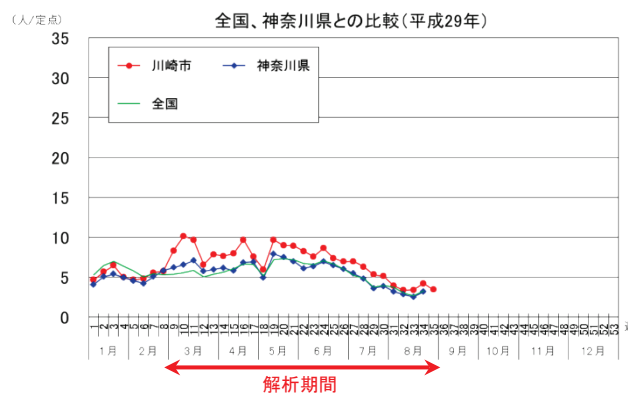
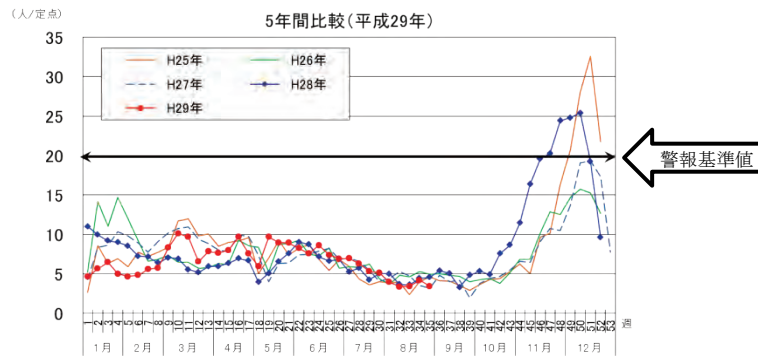


感染性胃腸炎(警報基準値:定点当たり 20 人)

【川崎市】

今期は定点当たり 7.06 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.01 倍で、例年並みのレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (20) を超えた週は、高津区で第 24 週 (20.67 人) でした。

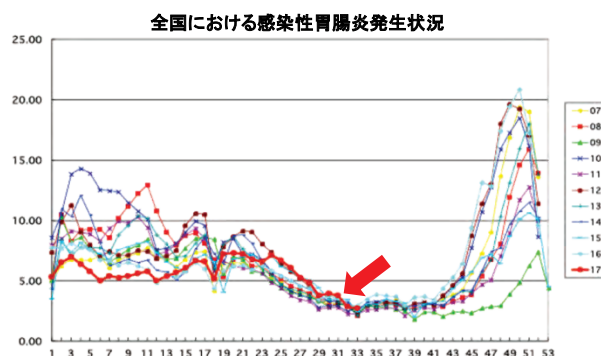


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果(ウイルス)	血清型	検査結果(細菌)
中原区	女	1	H29.2.28	陰性	-	陰性
幸区	女	2	H29.3.3	ロタウイルス	G2P[4]	陰性
幸区	女	11 か月	H29.3.6	陰性	-	陰性
幸区	男	1	H29.3.6	ロタウイルス	G1P[8]	陰性
川崎区	男	1	H29.3.8	ノロウイルス	GII.4	陰性
幸区	男	2	H29.3.9	ロタウイルス	G3P[8]	陰性
川崎区	男	1	H29.3.29	ノロウイルス	GII.2	陰性
幸区	男	3	H29.4.24	ロタウイルス	G2P[4]	陰性
幸区	女	2	H29.5.1	ロタウイルス	G3P[8]	陰性
幸区	女	2	H29.5.15	ロタウイルス	G2P[4]	陰性
幸区	男	3	H29.5.19	ノロウイルス	GII.4	陰性
幸区	男	10 か月	H29.5.22	アストロウイルス	1 型	陰性
中原区	女	8 か月	H29.5.23	ノロウイルス	GII.4	陰性
幸区	男	10 か月	H29.6.6	ノロウイルス	GII.4	陰性
幸区	男	7	H29.7.7	パレコウイルス	1 型	陰性
宮前区	女	87	H29.6.8	陰性	-	-
幸区	男	3	H29.6.20	ロタウイルス	G2P[4]	陰性
幸区	男	5	H29.6.20	ロタウイルス	G2P[4]	陰性
幸区	男	2	H29.7.3	陰性	-	陰性
幸区	男	7	H29.7.7	陰性	-	陰性

【全国及びその他】

全国的には 6 月中旬まで例年より低いレベルで推移しましたが、それ以降は例年より高いレベルで推移しました。

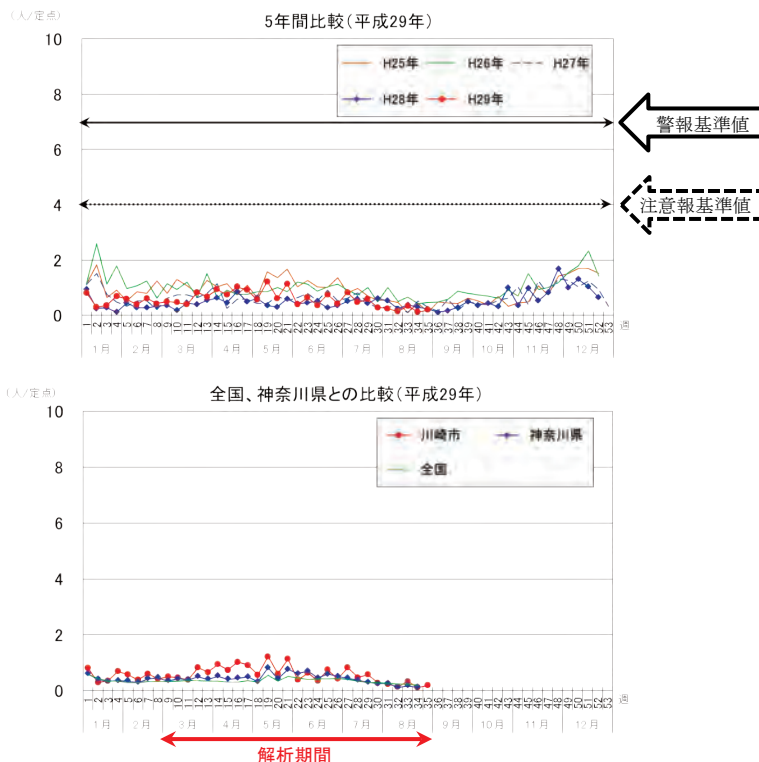


水痘(警報基準値:定点当たり7人、注意報基準値:定点当たり4人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.59 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.74 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生注意報基準値 (4) を超えた週はありませんでした。

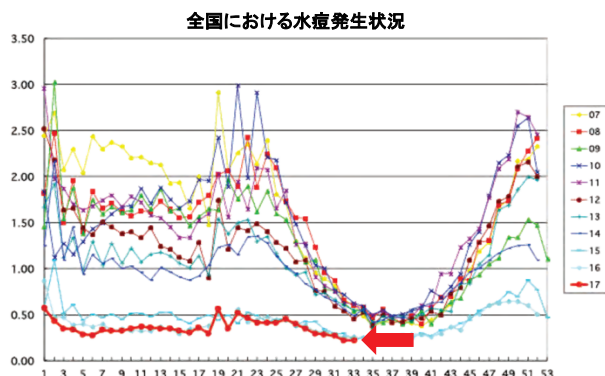


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	女	6	H29.2.28	水痘・帯状疱疹ウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	7型
中原区	女	1	H29.4.10	EBウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	6型
多摩区	男	7	H29.4.24	水痘・帯状疱疹ウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	6型
多摩区	男	4	H29.5.10	水痘・帯状疱疹ウイルス	-
多摩区	女	3	H29.5.25	陰性	-
高津区	女	7	H29.6.2	水痘・帯状疱疹ウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	7型
高津区	女	7	H29.6.2	水痘・帯状疱疹ウイルス	-
高津区	女	8	H29.7.6	水痘・帯状疱疹ウイルス	-
				単純ヘルペスウイルス	1型
中原区	男	6	H29.7.12	EBウイルス	-
				ヒトヘルペスウイルス	7型

【全国及びその他】

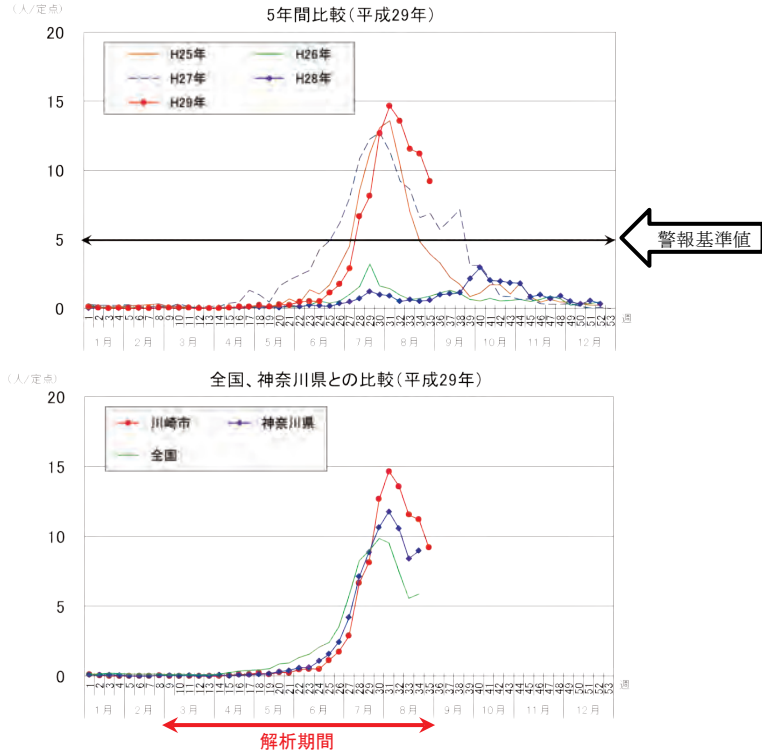
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



手足口病(警報基準値:定点当たり5人)

【川崎市】

今期は定点当たり 3.52 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 2.04 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。第 28 週に流行発生警報基準値 (定点当たり 5.00 人) を超え、第 31 週に定点当たり 14.65 人と流行のピークとなりました。

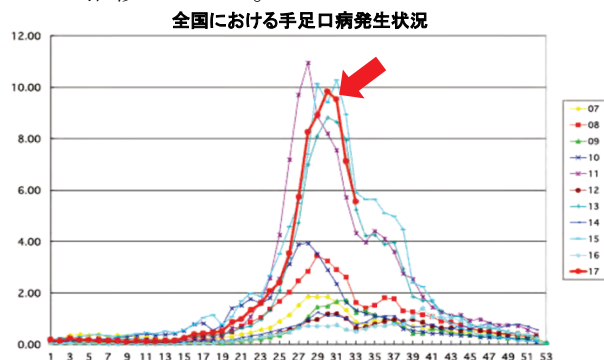


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	女	1	H29.4.17	コクサッキーウイルス	A6
多摩区	男	10 か月	H29.5.11	コクサッキーウイルス	A6
高津区	男	2	H29.5.15	コクサッキーウイルス	A6
多摩区	女	11 か月	H29.5.19	コクサッキーウイルス	A6
中原区	男	7 か月	H29.5.22	コクサッキーウイルス	A6
中原区	男	1	H29.6.7	コクサッキーウイルス	A6
				ライノウイルス	C
多摩区	男	1	H29.6.20	コクサッキーウイルス	A6
多摩区	女	1	H29.6.22	コクサッキーウイルス	A6
多摩区	男	1	H29.6.28	コクサッキーウイルス	A6
高津区	男	10 か月	H29.6.29	コクサッキーウイルス	A6
				ライノウイルス	A
多摩区	女	1	H29.7.4	コクサッキーウイルス	A6
高津区	女	1	H29.7.10	コクサッキーウイルス	A6
宮前区	女	1	H29.7.10	コクサッキーウイルス	A6
宮前区	男	1	H29.7.10	コクサッキーウイルス	A6
中原区	女	1	H29.7.10	コクサッキーウイルス	A6
				ライノウイルス	A
中原区	男	1	H29.7.11	コクサッキーウイルス	A6
麻生区	女	2	H29.7.24	コクサッキーウイルス	A6
麻生区	女	10 か月	H29.7.24	陰性	-
多摩区	女	1	H29.7.25	コクサッキーウイルス	A6
高津区	女	1	H29.7.31	コクサッキーウイルス	A6
中原区	男	1	H29.8.1	エンテロウイルス	71 型
中原区	女	1	H29.8.7	コクサッキーウイルス	A6
				ライノウイルス	A
高津区	男	1	H29.8.24	コクサッキーウイルス	A6
麻生区	男	1	H29.8.28	コクサッキーウイルス	A6
				コクサッキーウイルス	B4
麻生区	女	2	H29.8.28	コクサッキーウイルス	A6

【全国及びその他】

全国的にも例年より高いレベルで推移しました。

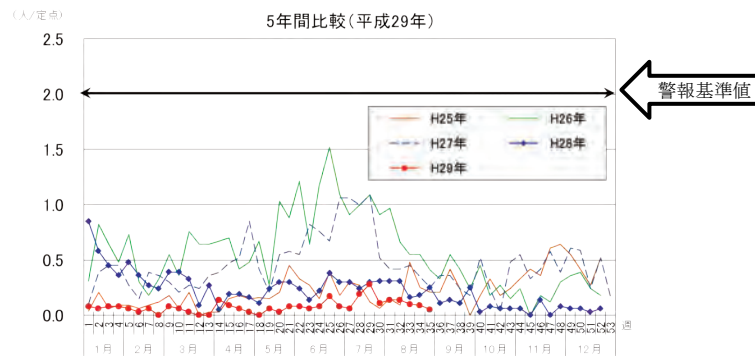


伝染性紅斑(警報基準値:定点当たり2人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.08 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.20 倍で、例年よりかなり低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (2) を超えた週はありませんでした。

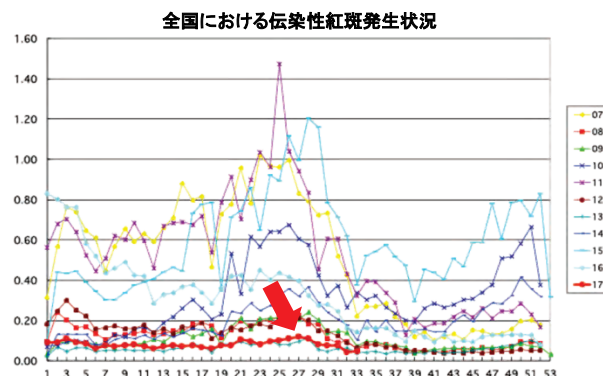


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	女	6	H29.4.8	陰性	—
多摩区	男	6	H29.6.30	陰性	—
中原区	女	8	H29.7.19	陰性	—
中原区	女	4	H29.8.4	パルボウイルス	B19

【全国及びその他】

全国的にも例年よりかなり低いレベルで推移しました。

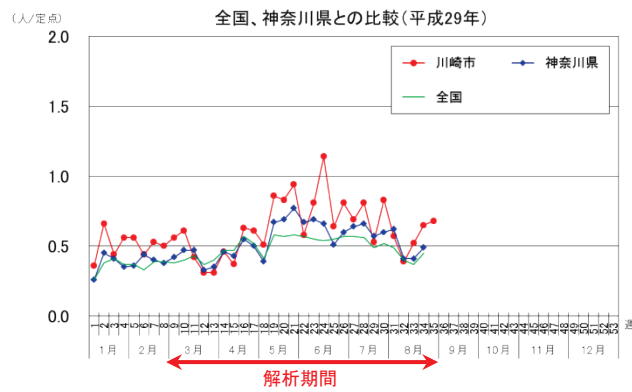
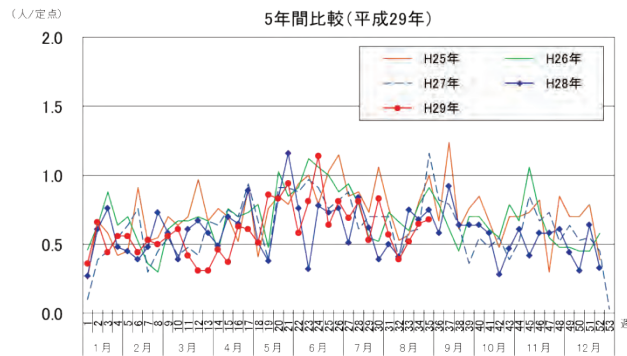


突発性発しん

【川崎市】

今期は定点当たり 0.63 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.84 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

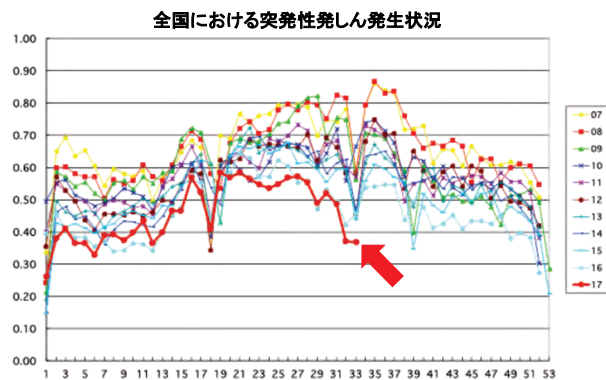
また、年齢階級別では 1 歳以下が 82.4% を占めていました。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

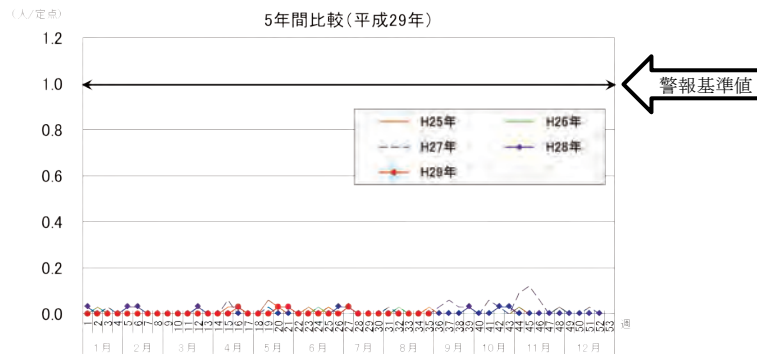


百日咳(警報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.004 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.74 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

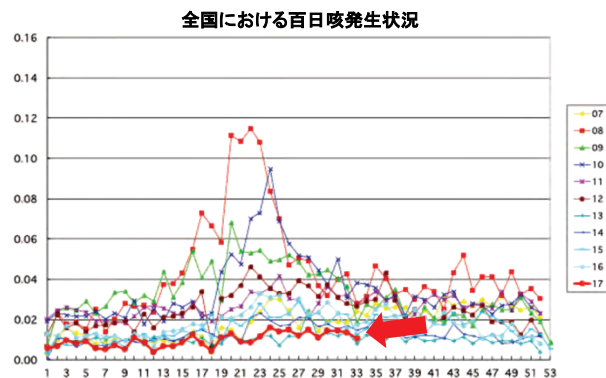
また、年齢階級別では 15～19 歳が 1 件、20～29 歳が 3 件でした。



なお、病原体定点からの検体の提供はありませんでした。

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

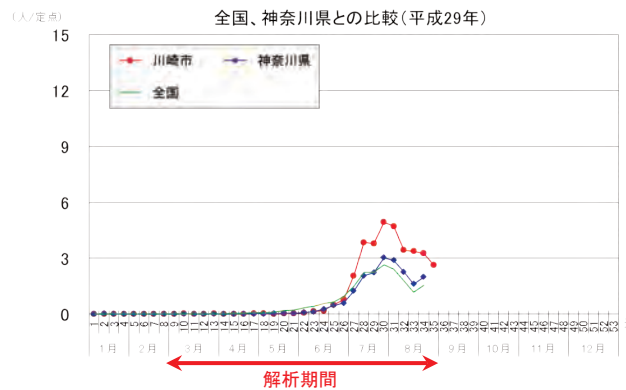
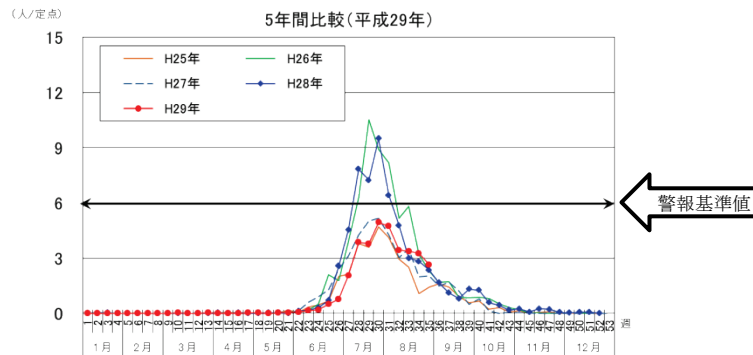


ヘルパンギーナ(警報基準値:定点当たり6人)

【川崎市】

今期は定点当たり 1.25 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.75 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (6) を超えた週は、川崎区で第 28 週 (8.60 人)、第 29 週 (7.40 人)、第 30 週 (6.20 人)、第 31 週 (7.80 人)、第 33 週 (8.50 人)、幸区で第 30 週 (7.00 人)、第 31 週 (7.25 人)、第 32 週 (6.75 人)、第 34 週 (6.75 人)、高津区で第 31 週 (6.33 人)、多摩区で第 29 週 (6.60 人)、第 30 週 (10.80 人)、第 31 週 (8.80 人)、第 32 週 (8.40 人)、第 33 週 (9.25 人)、第 35 週 (6.40 人) でした。

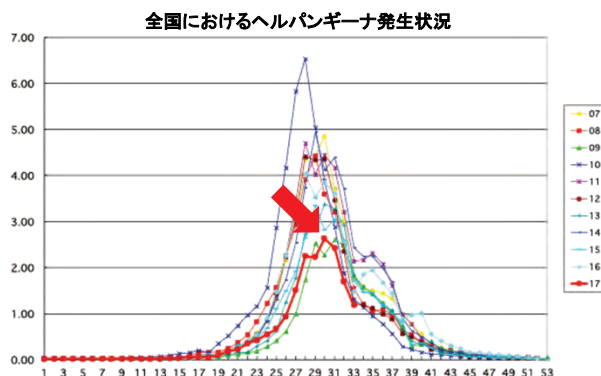


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
中原区	男	1	H29.7.10	陰性	—

【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

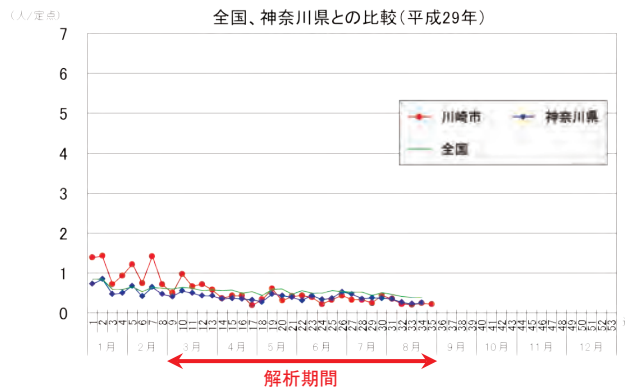
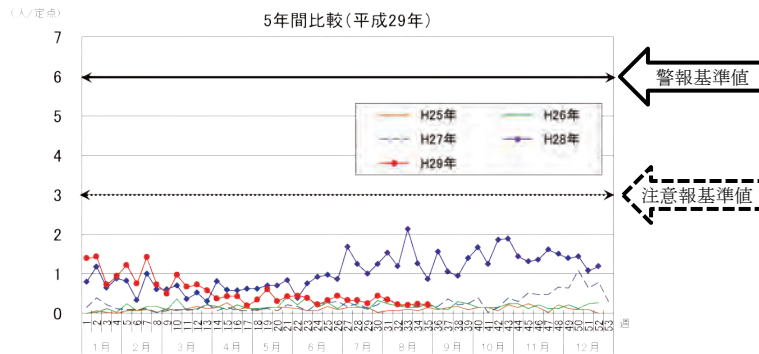


流行性耳下腺炎(警報基準値:定点当たり6人、注意報基準値:定点当たり3人)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.41 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.27 倍でした。年当初から 3 月までは例年よりかなり高いレベルで推移し、それ以降は例年よりやや高いレベルで推移しました。

今期、流行発生注意報基準値 (3) を超えた週は、川崎区で第 10 週 (3.00 人) でした。

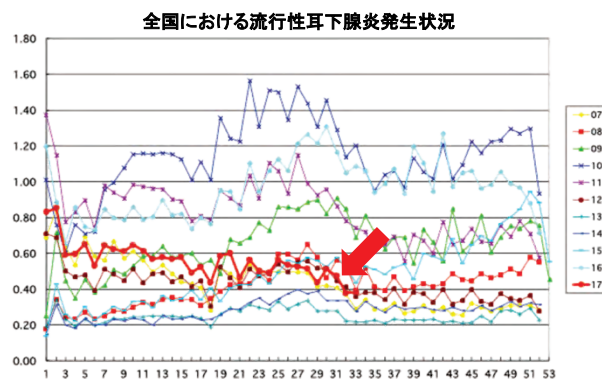


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
多摩区	女	5	H29.3.15	ムンプスウイルス	Gw 型
川崎区	女	4	H29.4.5	ムンプスウイルス	Gw 型

【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。



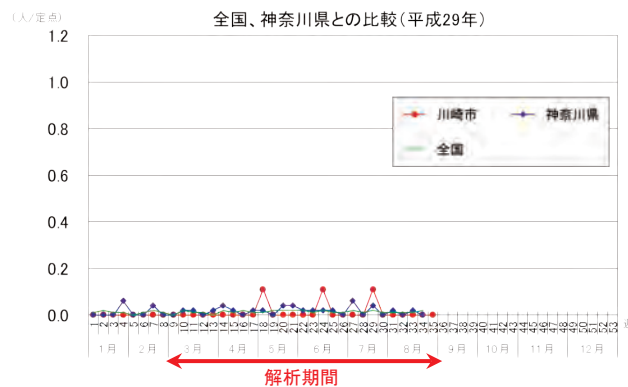
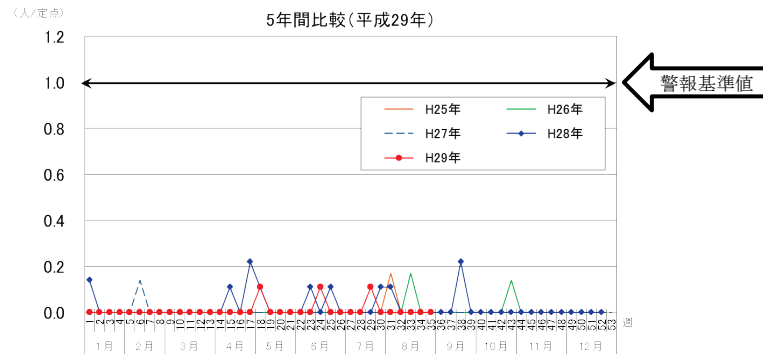
<眼科定点対象疾患>

急性出血性結膜炎(警報基準値:定点当たり1人)

【川崎市】

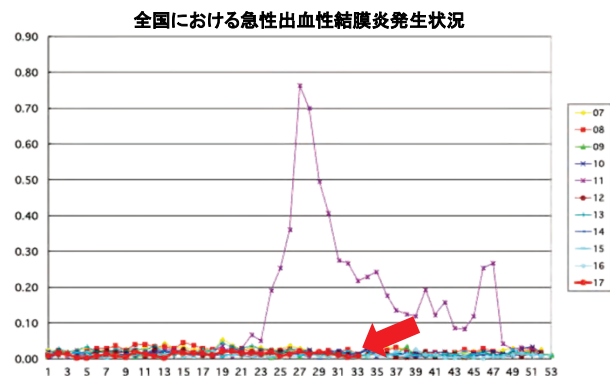
今期は定点当たり 0.012 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.30 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。

今期、流行発生警報基準値 (1) を超えた週はありませんでした。



【全国及びその他】

全国的には例年並みのレベルで推移しました。

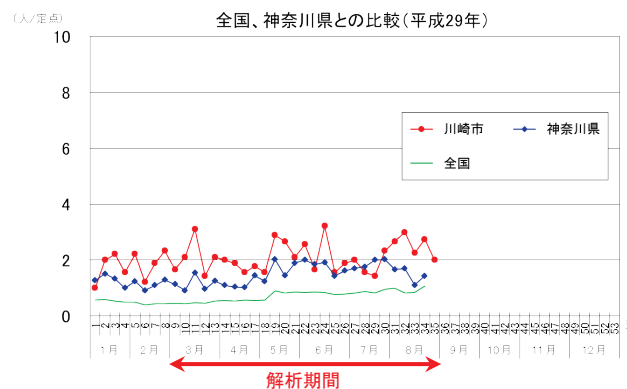
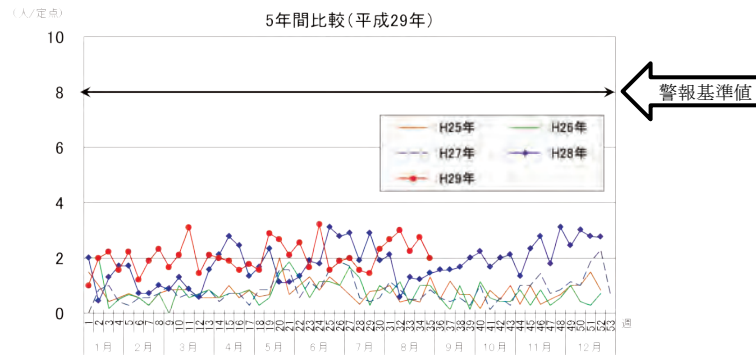


流行性角結膜炎(警報基準値:定点当たり8人)

【川崎市】

今期は定点当たり 2.14 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 2.07 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。第 24 週には定点当たり 3.22 人となり、過去 10 年間と比較して最多の報告数となりました。

今期、流行発生警報基準値 (8) を超えた週は、高津区で第 11 週 (8.00 人)、第 17 週 (8.00 人)、宮前区で第 24 週 (9.50 人)、麻生区で第 30 週 (9.00 人)、第 31 週 (8.00 人)、第 32 週 (9.00 人)、第 33 週 (8.00 人) でした。

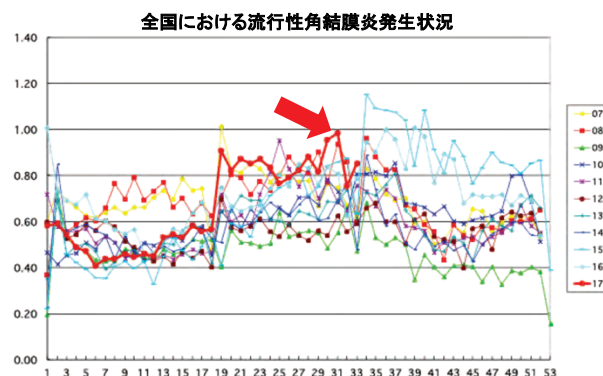


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)
川崎区	女	31	H29.5.16	アデノウイルス	3 型
川崎区	男	46	H29.5.16	陰性	-
川崎区	女	16	H29.5.28	アデノウイルス	4 型
川崎区	男	3	H29.6.5	陰性	-
川崎区	女	30	H29.6.18	アデノウイルス	64 型
川崎区	女	35	H29.6.18	アデノウイルス	56 型

【全国及びその他】

全国的には 5 月上旬まで例年並みのレベルで推移していましたが、それ以降は例年より高いレベルで推移しました。

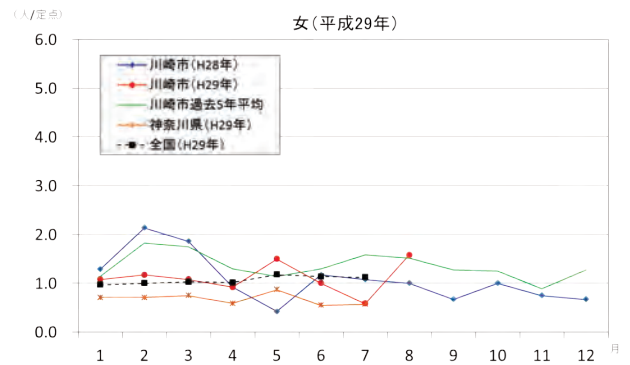
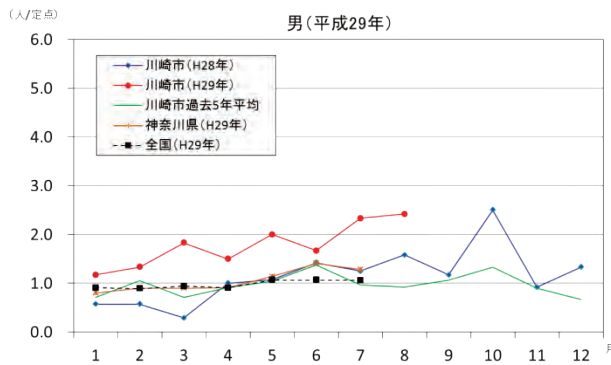
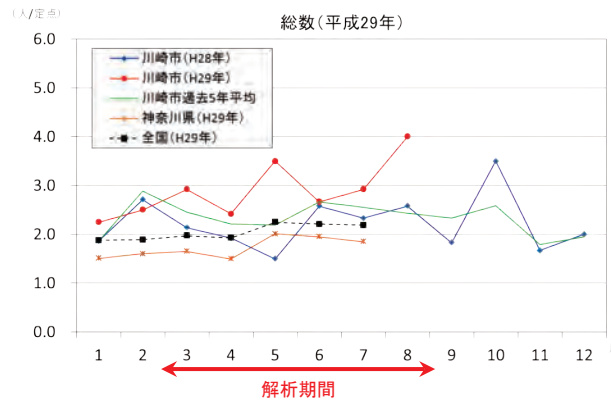


<性感染症定点対象疾患>

性器クラミジア感染症

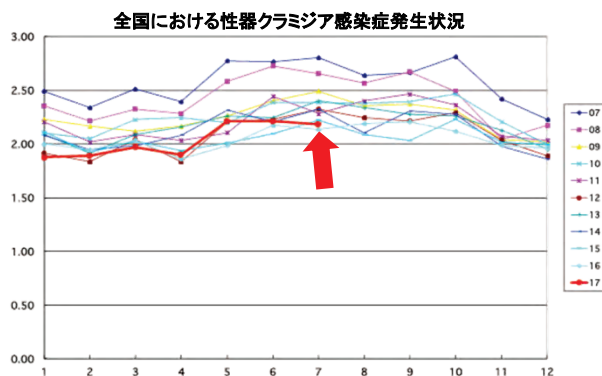
【川崎市】

今期は定点当たり 3.07 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.27 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。特に男性は年当初から報告数が増加しました。



【全国及びその他】

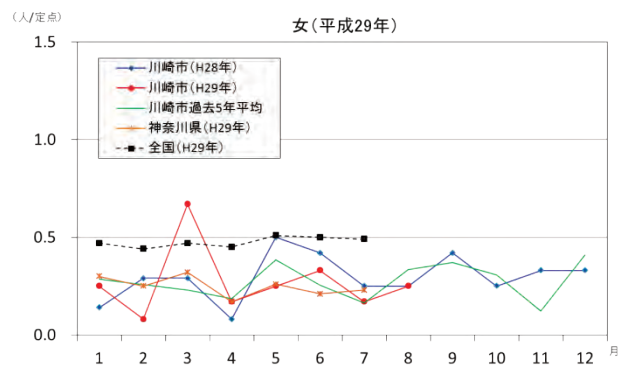
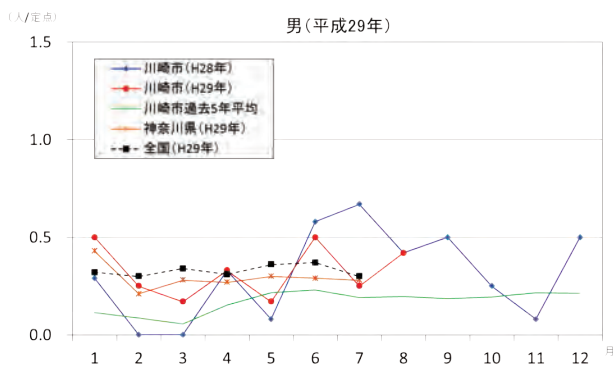
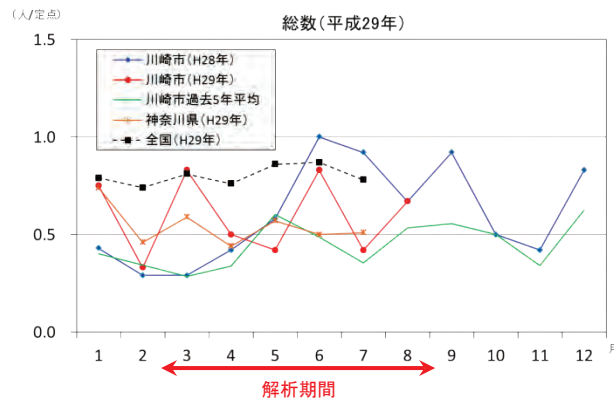
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



性器ヘルペスウイルス感染症

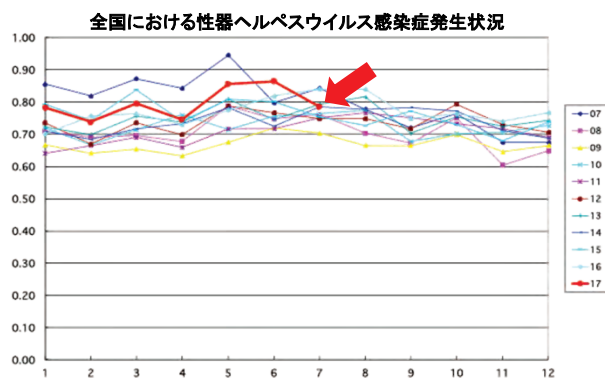
【川崎市】

今期は定点当たり 0.61 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.39 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。特に男性は 4 月、6 月、8 月、女性は 3 月に報告数が増加しました。



【全国及びその他】

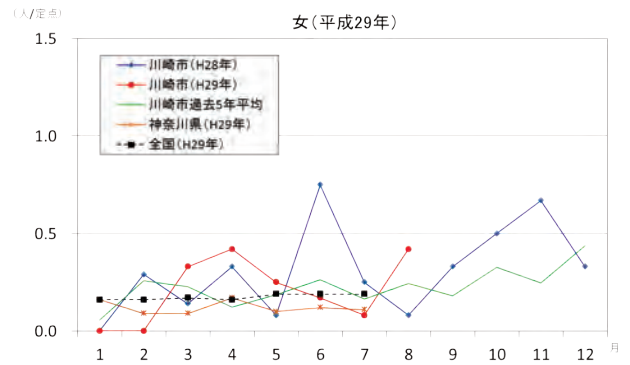
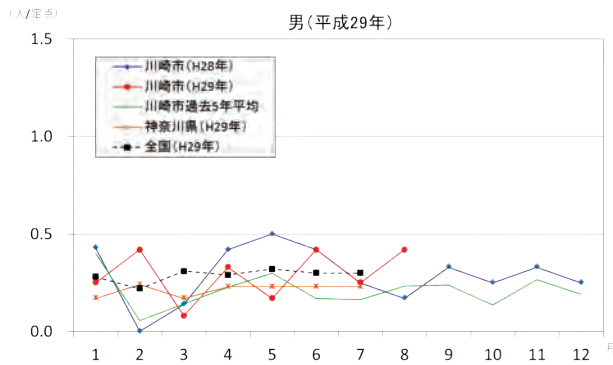
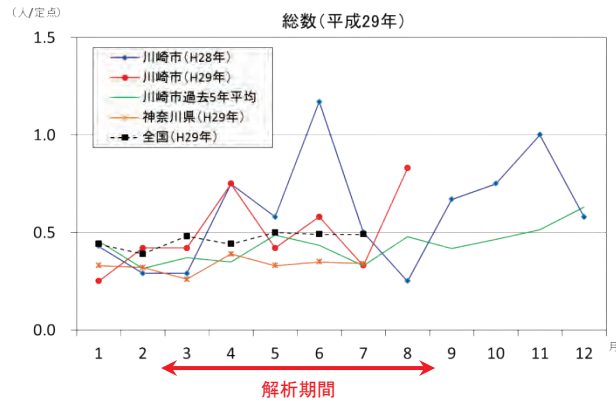
全国的にも例年よりやや高いレベルで推移しました。



尖圭コンジローマ

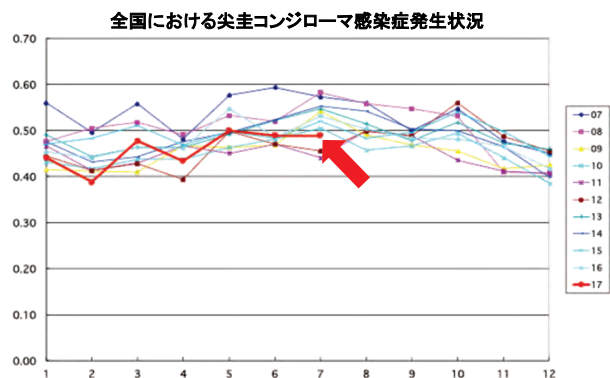
【川崎市】

今期は定点当たり 0.56 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.37 倍で、例年よりやや高いレベルで推移しました。特に男性は 4 月、6 月、8 月、女性は 3 月、4 月、8 月に報告数が増加しました。



【全国及びその他】

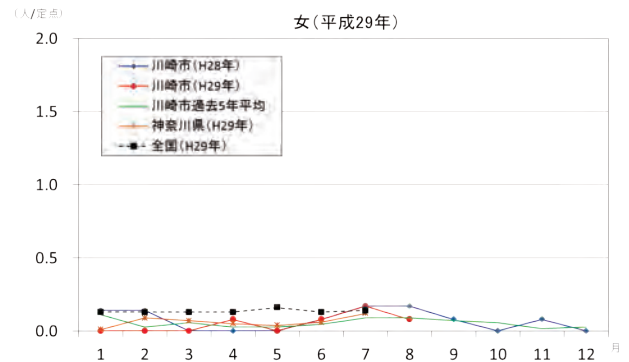
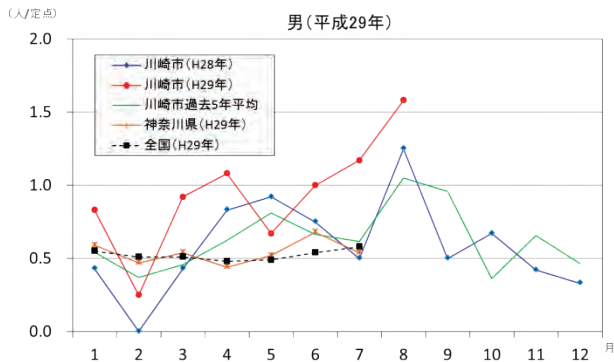
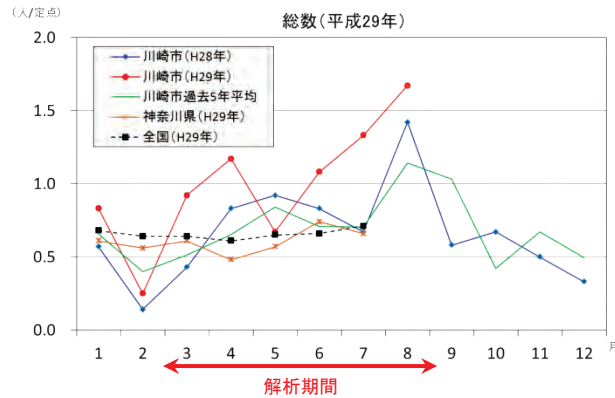
全国的には例年よりやや低いレベルで推移しました。



淋菌感染症

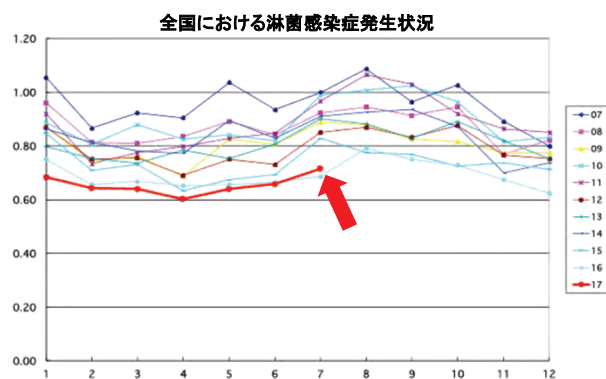
【川崎市】

今期は定点当たり 1.14 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.49 倍で、例年より高いレベルで推移しました。8 月には定点当たり 1.67 人となり、過去 5 年間で比較して最大の報告数となりました。特に男性の報告数が多く、全体の 93.9%を占めていました。



【全国及びその他】

全国的には例年より低いレベルで推移しました。

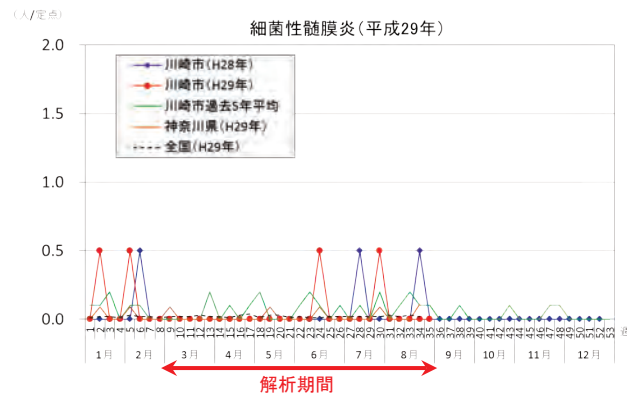


<基幹定点対象疾患（週報）>

細菌性髄膜炎

【川崎市】

今期は定点当たり 0.04 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.57 倍で、例年より低いレベルで推移しました。

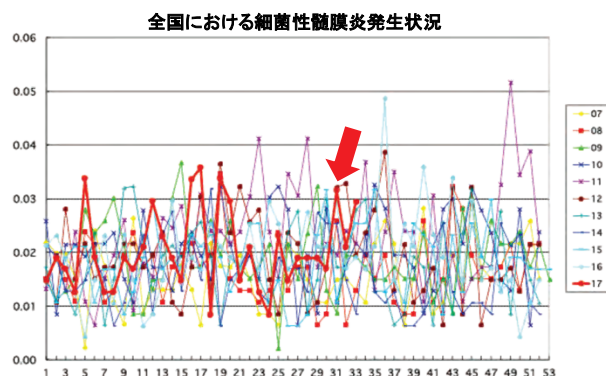


なお、検出された病原菌は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	届出週	検査結果	検査部位
川崎区	男	49	第 24 週	<i>Staphylococcus aureus</i>	髄液
川崎区	男	75	第 30 週	<i>Enterococcus faecium</i>	髄液

【全国及びその他】

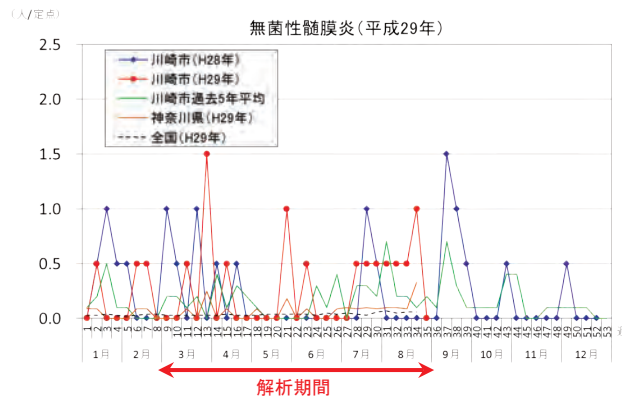
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



無菌性髄膜炎

【川崎市】

今期は定点当たり 0.30 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 1.69 倍で、例年より高いレベルで推移しました。

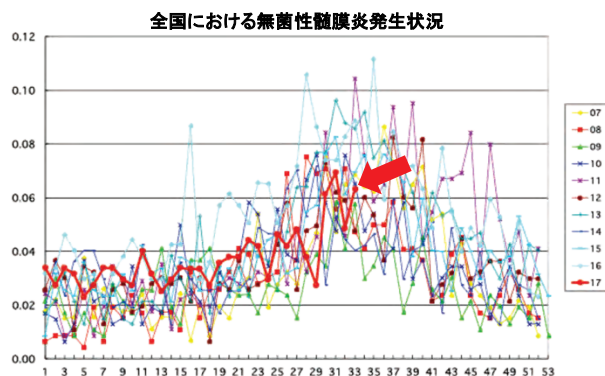


なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果	検査結果(亜型)	検査部位
川崎区	男	28	H29.3.16	陰性	-	髄液
宮前区	男	3	H29.3.27	陰性	-	髄液
			H29.3.28	ヘルペスウイルス	6 型	咽頭ぬぐい液
			H29.3.30	陰性	-	ふん便
川崎区	男	88	H29.4.5	水痘帯状疱疹ウイルス	-	髄液
宮前区	男	0 か月	H29.4.12	陰性	-	咽頭ぬぐい液
				陰性	-	血清
				陰性	-	ふん便
川崎区	女	22	H29.4.13	陰性	-	髄液
川崎区	男	22	H29.5.20	水痘帯状疱疹ウイルス	-	髄液
川崎区	男	27	H29.5.24	水痘帯状疱疹ウイルス	-	髄液
宮前区	女	5	H29.5.21	陰性	-	血清
			H29.5.22	陰性	-	髄液
			H29.5.23	陰性	-	血清
			H29.5.25	陰性	-	咽頭ぬぐい液
				陰性	-	ふん便
				陰性	-	尿
川崎区	男	1 か月	H29.7.12	コクサッキーウイルス	A9	髄液
川崎区	女	28	H29.7.19	陰性	-	髄液
川崎区	男	37	H29.7.26	コクサッキーウイルス	A9	髄液
川崎区	女	25	H29.8.6	コクサッキーウイルス	A9	髄液

【全国及びその他】

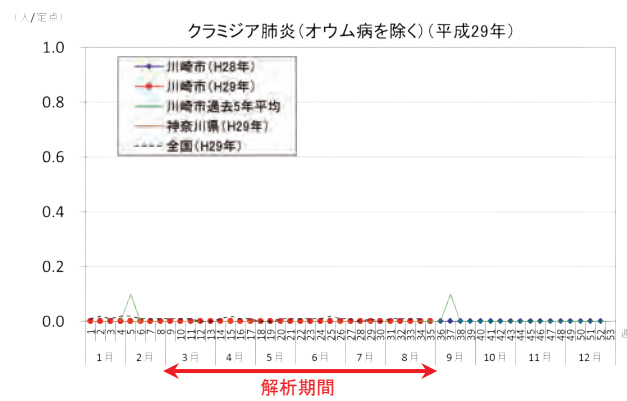
全国的には例年並みのレベルで推移しました。



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

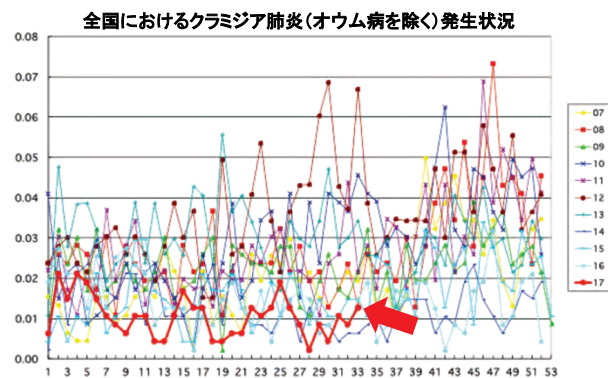
【川崎市】

今期は報告がありませんでした。



【全国及びその他】

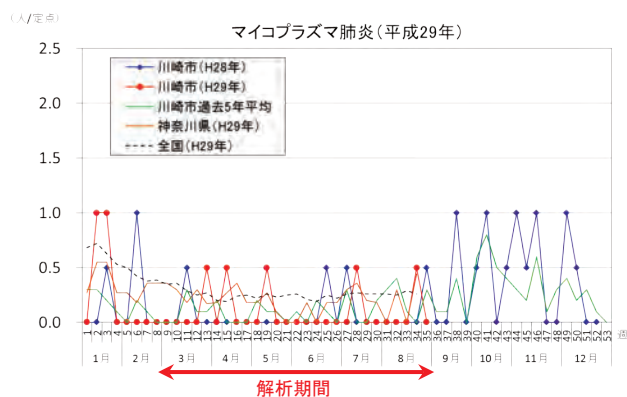
全国的には例年より低いレベルで推移しました。



マイコプラズマ肺炎

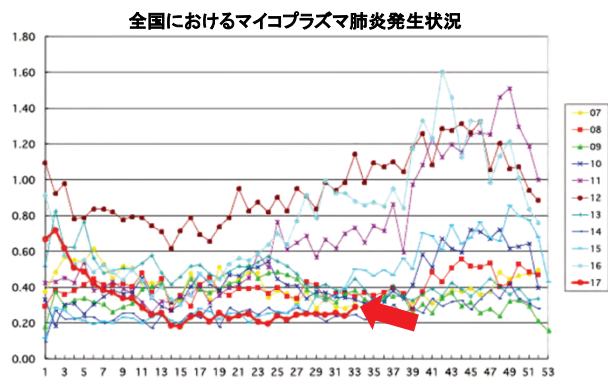
【川崎市】

今期は定点当たり 0.09 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.79 倍で、例年よりやや低いレベルで推移しました。



【全国及びその他】

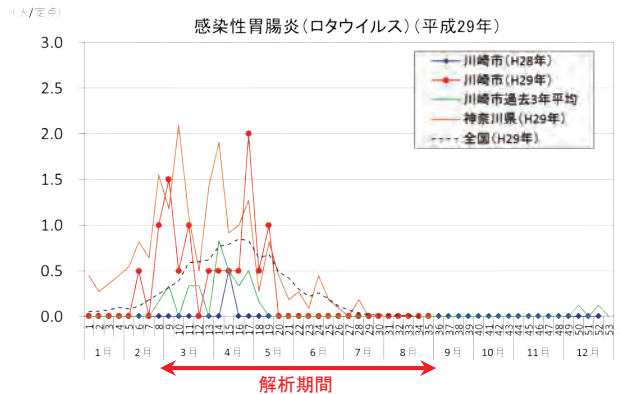
全国的にも例年より低いレベルで推移しました。



感染性胃腸炎(ロタウイルス)

【川崎市】

今期は定点当たり 0.31 人の報告があり、過去 3 年平均の報告数と比較すると 2.51 倍で、例年よりかなり高いレベルで推移しました。



なお、病原体定点からの病原体検出状況は次のとおりです。

区名	患者性別	患者年齢	検体採取日	検査結果(ウイルス)	血清型
宮前区	男	4	H29.3.7	ロタウイルス	G3P[8]
宮前区	男	3	H29.3.13	ロタウイルス	G3P[8]
川崎区	男	1	H29.3.14	ロタウイルス	G2P[4]
川崎区	男	9 か月	H29.3.15	ロタウイルス	G1P[8]
宮前区	男	2	H29.3.16	ロタウイルス	G3P[8]
川崎区	男	2	H29.4.3	ロタウイルス	G2P[4]
川崎区	男	1	H29.4.8	ロタウイルス	G2P[4]
川崎区	男	1	H29.4.14	ロタウイルス	G2P[4]
川崎区	女	1	H29.4.24	ロタウイルス	G2P[4]
川崎区	男	2	H29.4.30	ロタウイルス	G2P[4]
宮前区	女	2	H29.5.2	ロタウイルス	G2P[4]

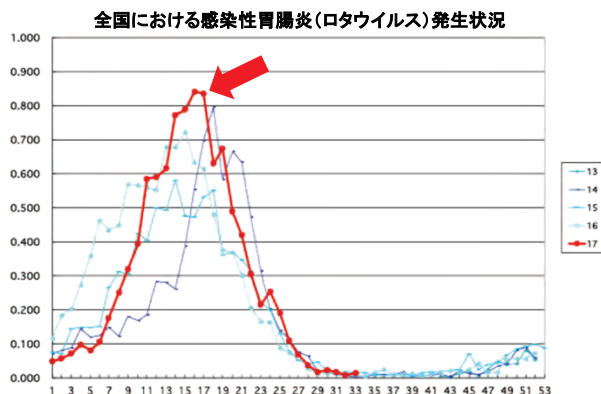
※単価ワクチン：G1P[8]を成分とした弱毒生ワクチン

※5価ワクチン：G1、G2、G3、G4、P1A[8]を成分とした弱毒生ワクチン

単価ワクチン及び5価ワクチンについては、いずれも G1P[8]、G2P[4]、G3P[8]、G4P[8]、G9P[8]に効果があると添付文書に記載されている。

【全国及びその他】

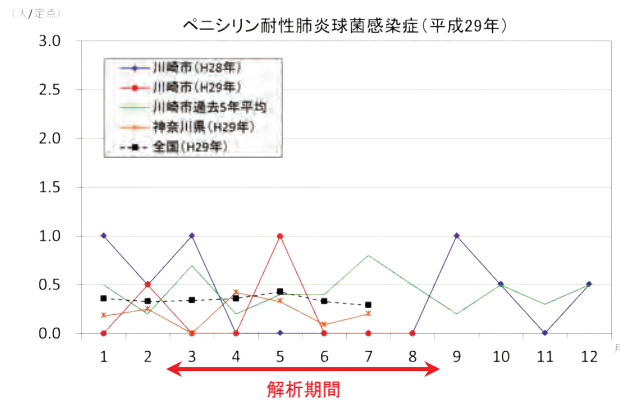
全国的には、3月中旬まで例年並みのレベルで推移しましたが、それ以降は例年より高いレベルで推移しました。



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症

【川崎市】

今期は定点当たり 0.17 人の報告があり、過去 5 年平均の報告数と比較すると 0.34 倍で、例年より低いレベルで推移しました。5 月に 2 件の報告がありました。



【全国及びその他】

全国的にも例年より低いレベルで推移しました。

